別海町郷土資料館だより

No.83・2006・6

自然系・歴史系
「ふるさと講座」第1回目のご案内

自然系（四季の野鳥観察）

●第1回目

タンチョウ・アオサギ・アカアシシギの観察会

と　き　平成１８年6月２５日（日）午前９時～１２時
ところ　野付半島（集合場所　野付半島ネイチャーセンター）
講　師　別海町立上西春別中学校　教諭　藤井　薫　氏
持物等　双眼鏡・図鑑など（郷土資料館でも貸出しします。）
服　装　野外で活動できる服装で、長靴を持参下さい。

●観察会の見どころ

野付半島では、今までに218種類の野鳥たちが確認されています。その数は日本で確認されている鳥の約 40%、根室管内で確認されている鳥の６５%に相当します。

今回の観察会では、国の特別天然記念物のタンチョウをはじめ、アオサギや日本国内で唯一繁殖が確認されているアカアシシギを中心にその生態を観察します。また、センダイハギ、エゾカンゾウ、ヒオウギアヤメなど原生花園が色づく季節です。是非ご参加ください。

自然系２回目以降の予定。

●第２回目
コウモリ観察会（奥行臼駅逓）
7月 24 日（月）午後 6 時～9 時

●第３回目
渡り鳥観察会（野付半島）
11 月 12 日（日）午前 9 時～12 時

●第４回目
オジロワシ・オオワシ観察会（風蓮湖）
2 月中旬　午前 9 時～12 時

歴史系（昔々のべつかい）

●第1回目

別海町の遺跡（お話）

と　き　平成１８年6月３０日（金）午後７時～９時
ところ　郷土資料館
講　師　郷土資料館　主任　石渡　一人

●こんな内容をお話します。

別海町にはどんな時代の遺跡があるのか？　これまでの発掘調査によりどんなことが分かったのか、お話しします。また、土器や石器などの遺物についても実際にさわってもらい。古代を想像していただきます。

歴史系２回目以降の予定。

●第２回目
遺跡見学会（野付半島）
7月 9 日（日）午前 9 時～12 時

●第３回目
遺跡体験発掘
（標津町ポー川史跡自然公園）
9月 1 日（金）午前 9 時～12 時

●第４回目
古代の装飾品　勾玉作り
（郷土資料館）
10 月 6 日（金）午後 7 時～9 時

申込方法　自然系・歴史系ともに郷土資料館へ電話・ＦＡＸ・メールにて、①希望する講座、②住所　③氏名、④電話番号をお知らせください。

好評です。 出前講座！

郷土資料館では、教育普及事業の一つとして、出前講座を実施しています。例年依頼の多いのは学校関係です。郷土学習を取り入れた授業の充実を図るため、今後とも積極的に行って行きたいと思います。今月号は、5月に行われた出前講座の様子をお知らせします。

「★開拓使別海缶詰所」 上春別中学校（5/10）

総合的な学習の時間（郷土研究）全校生徒26名
（担当教諭　藤原秋彦氏）

およそ130年前に現在の本別海に作られた開拓使の缶詰工場の歴史について、当時の缶詰のつくり方、お雇い外国人、別海が選ばれたわけ、★マークの秘密などのトピックを取り上げてお話しました。学校の授業で習う「殖産興業」や「開拓使」の絶好の教材が自分たちの町にあることを知ってもらえたと思います。

＜生徒の感想文から＞
「色々な資料などを見て感動しました。かなり面白い歴史がこんな田舎町別海町にあったなんてすごいと思います。でもあんなデッカイ缶詰工場が今はほんの一部だけしか残ってないのは残念です…。」
「別海の缶詰がフランスに輸出されていたことが一番おどろきました。」
「別海も、こんな立派な歴史が残っているんだなぁーとずっと感動しっぱなしでした。」
「今もだけど、昔から別海町の鮭はおいしかったんだなぁと思いました。」（当館担当職員　戸田学芸員）

「大昔の別海」上西春別中学校(5/18･30)

選択授業（社会―郷土研究）3年生　19名
（担当教諭　藤井薫氏）

18日は、北海道と本州の時代区分の違いや、別海町の遺跡についてお話し、マンモス臼歯化石や土器・石器などを実際にさわってもらいました。
30日は、古代の装飾品勾玉作りを行い、古代生活の一端を体験してもらいました。
（当館担当職員　石渡主任）

「巣箱作り」 別海高校（5/2）

総合的な学習の時間（郷土研究）3年生14名
（担当教諭　松浦賢一氏）

郷土から世界を考える視野を持つことを学習の目標とし、郷土の自然・歴史・産業をフィールドワークを取り入れながらの調査研究を行うようです。
「巣箱作り」の目的は、この道東地域（根室原野）が世界有数の野鳥生息地であり、昨年、国際的なラムサール条約の登録地になったこともあり、郷土の自然について学習しながら、自然環境の保全を考え、また郷土（地域）から世界を考える視野を持ってほしいとの願いを込めて、巣箱を制作し、野鳥週間の時期に合わせて、その制作した巣箱を学校の敷地内に設置しました。

＜巣箱製作の生徒の感想＞
「ちょっとミスをしてしまったけれど、無事に完成できたし、楽しく製作できました。初めて使った道具もありましたが、いい体験になりました。珍しい鳥に使ってもらいたいです。」
＜巣箱設置の生徒の感想＞
「木の位置とか日当たりを気にしながら設置しました。直接、木に巣箱を取り付けるのは初めてで、難しいと思いました。みんなで作った巣箱を鳥たちは使ってくれるかな？」　（当館担当職員　石渡主任）

6　月
郷土資料館のお知らせ

- **休館日**
  3日・4日・12日
  17日・18日・26日
- **開館時間**
  午前9時～午後5時
  （入館は午後4時30分まで）
- **観覧料**
  一般個人 300円
  一般団体（10名以上）240円
  高校生以下は無料となります。

別海町郷土資料館だより No.83
発行日　平成18年6月1日
発行所　別海町郷土資料館
別海町別海宮舞町30番地
電話　0153-75-0802（FAX兼）
e-mail　kyoudo@betsukai.gr.jp

編集後記
最近気になっているのがブログです。N町・N市の学芸員が、日々の活動を毎日日記形式で、公開しています。旬の情報をすばやく公開し、出張中でも携帯から更新しているようです。とても真似出来ませんが、記録を残す方法にも色々あるんだなと思いました。（石渡）